



かわみなみ 議会だより

No.152

令和8年(2026年)

6月1日発行

無限の躍動！
真剣勝負！



～5月に開催された唐瀬原中学校体育大会より～

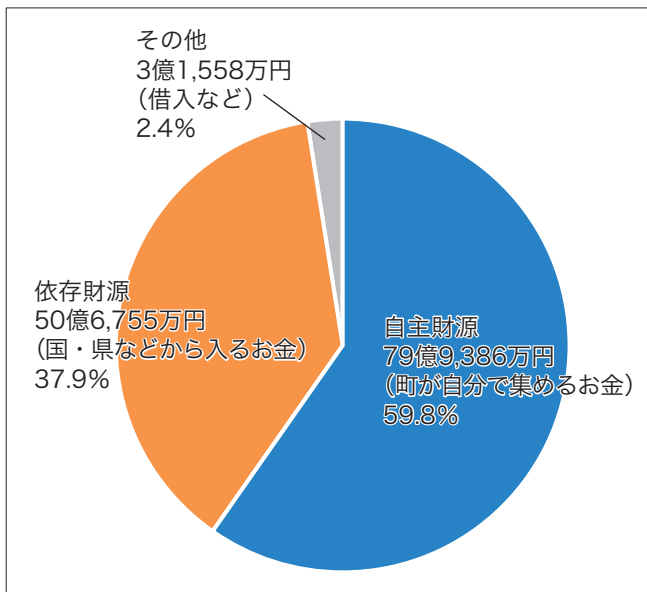


目次

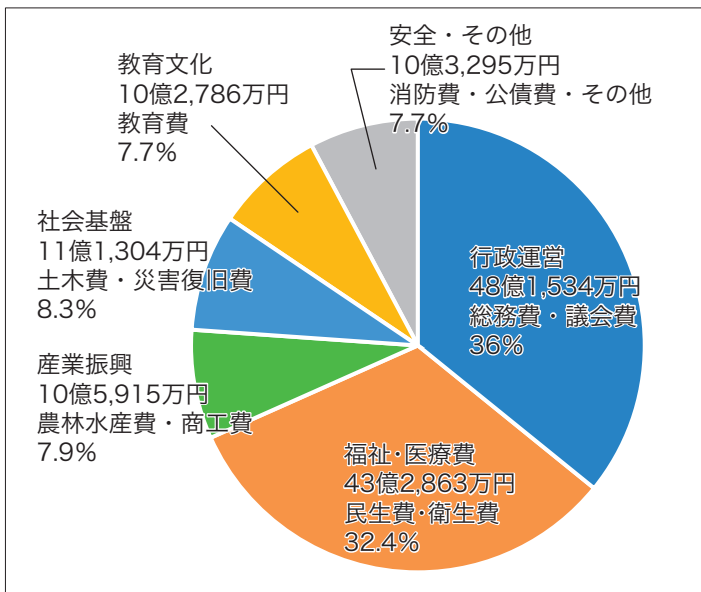
- 2～5…新年度予算
- 6・7…包括施設管理
- 8…聞いてみました
- 9…議員の判断は
- 10～13…一般質問
- 14・15…長期総合計画
- 16…活性化委員会

令和8年度は133億7700万円でスタート

歳入 (町を運営するために入ってくるお金)



歳出 (町を運営し住民サービスを行うお金)



「限られた収入(歳入)を、どこにどう使うか(歳出)が町の政策です。」

「人生100年！ 元気は自分でつくる！」

●介護予防教室委託 6,864,000円

65歳以上の健康維持のための事業である。
2つの町内事業者へ委託する。
(運営費+参加者数を月の委託料とする。)

どちらか1つの業者
を選んで登録する



●健康ポイント事業 (ポイ活)

令和8年6月から開始...付与されたポイントは地域通貨(チイカ)として町内で利用可能

対象区分	定員	予算額	1人あたりの最大付与
① 65歳以上の方	300名	1,800,000円	月600ポイント、最大6,000ポイント
② 20歳~64歳の方	700名	4,200,000円	月600ポイント、最大6,000ポイント

※詳細は①は福祉課 0983-27-8008、②は町民健康課 0983-32-0861へお電話ください。

出合いをサポート

●婚活イベントの開催.....99万円

- ・出合いの機会と場所を提供する婚活イベントを町内のお店で開催する。
- ・婚活イベントの企画・運営は専門の業者に委託

●婚活サポートセンター等への入会登録料を補助.....11万円

- ・結婚相談所は自分にあった所を選べる。
- ・登録料として最大11,000円を補助する。



詳細はまちづくり課へ TEL 0983-27-8002

タクシー運行支援補助金4,320,000円

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

川南町では、タクシー事業者に対して迎車回送料金に相当する運行経費を補助する事で、公共交通が不足する夜間及び日曜日に町外からのタクシー配車を強化する事業を実施する。

是非、タクシーをご利用下さい。

- 月～土曜日：午後9時30分から翌日の午前0時まで
- 日曜日：各社営業開始時刻から翌日の午前0時まで

■三和交通(株) TEL 0983-27-3171
 ■宮交タクシー(株) TEL 0983-23-0026

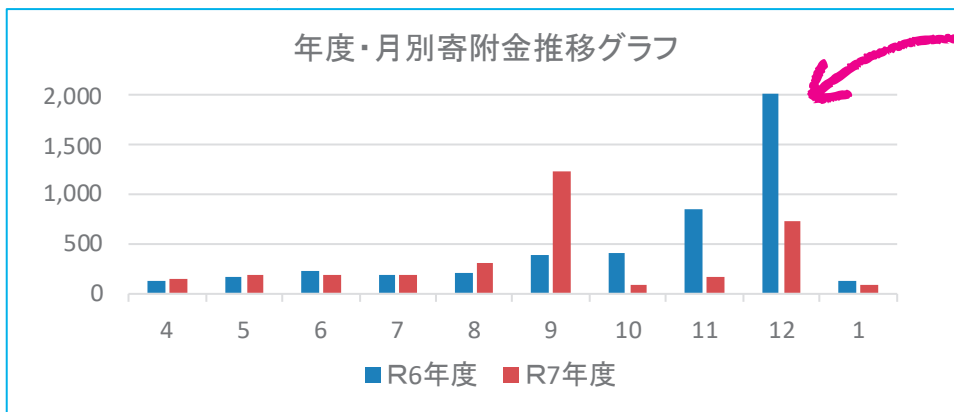
詳細はまちづくり課へ TEL 0983-27-8002



令和7年度補正予算

ふるさと納税寄附金額は34億5000万円

(上限20億/単位百万円)



例年であれば12月に納税額がアップするが、令和7年度はポイント制度廃止に伴い9月に増加した。

なぜ減少傾向へ

- ネット販売店でのポイント制度が令和7年9月末で廃止。
- 近年の物価高影響により寄附者の関心が“普段は購入しにくい高級品を選ぶ”傾向から“日用品やお米など生活に直結する必需品”へと移行してきた。
- 返礼品の配送スピードを重視する傾向が高まってきた。

今後どう取り組むか

- 返礼品構成の見直しと選ばれやすさの向上を目指す。
- これまで主力であった返礼品を中心に、既存の、返礼品に加え、内容(中身)は同一としつつ、容量を抑えた安価品など、手の届きやすい価格の返礼品を新たに設定することで、寄附者が選択しやすい構成へ見直す。

ゴミ処理の流れを紹介します



ゴミ処理に係る費用

【指定ごみ袋で分別して排出】……1,613万円

- ・ゴミ袋交付管理委託料
- ・ゴミ袋の作成費

※皆様が払われるゴミ袋代は2,206万円



【収集・運搬】……6,468万円

- ・町内を回ってゴミを回収(川南衛生公社)
- ・坂の上中継施設業務処分場(シルバー人材センター)
- ・大型鳥獣
- ・不法投棄されたゴミも対応



【中間施設・分別】……5,251万円

(西都児湯環境整備事務組合)

- ・燃えるゴミ・燃えないゴミ収集(中間)
- ・資源ゴミの分別処理



【最終処理(焼却・埋立)】……6,549万円

(エコクリーンプラザみやざき)

- ・ゴミを焼却し減量化
- ・最終処分まで実施



～リチウム電池による火災～

【ゴミの中に電池が混ざると】

- ・ゴミ袋⇒収集車(圧縮)⇒炎上⇒処理施設が停止
- ・管内全体のゴミが処理出来なくなる恐れ

【対象となるもの】

モバイルバッテリー、充電式電池、電子たばこ、小型家電(中に電池が入ってるもの)

【お願い】

たった一つの電池がゴミ処理を止めるため、一般ゴミに絶対に入れないで下さい。

① 燃えるごみ



- ・そのまま燃えるごみの日に出す
 - ・分別が不十分だと…
- 収集・処理費用はそのままかかる

② 資源ごみ



- ・ペットボトルや缶は分別する
 - ・キャップやラベルを外す
- リサイクルでき、処理費用を減らせる

☆ ひとつこと ☆

→ 正しい分別が、安全とコスト削減につながります

運動公園の整備が進みます

■ 主な整備内容……2億3,652万円

① 野球場・トイレ等の改修設計……1,610万円

- ・北側トイレ改築設計・照明施設外改修設計・児童公園(通称パンダ公園)の改修設計

② 園路照明の設置……約5,754万円

- ・園内41か所に照明を設置…夜間の安全性、利便性が向上

③ 防犯カメラ設置……約835万円

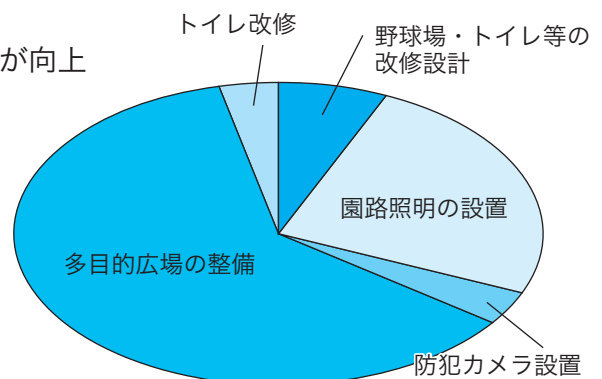
- ・公園内5か所設置(令和7年度2か所設置)

④ 多目的広場(旧町営プール跡地)の整備……約1億4,300万円

- ・国民スポーツ大会に向けた広場整備

⑤ トイレ改修工事……823万円

- ・野球場南側、管理棟側トイレを改修



安心して使える水を未来へ

～水道事業の現状とこれから～

■水道のあゆみ



- ・本町の水道は昭和48年に広域簡易水道としてスタートした。
- ・現在では約14,900人に供給し、1日最大7,421m³の水を届けている。
- ・生活に欠かせないインフラ

■水道を取り巻く現状



- ・人口減少による料金収入の減少
- ・物価上昇による維持管理費の増加
- ・施設の老朽化による更新費の増大
- ・経営環境は厳しくなる見込み。

■水道管の現状



- ・水道管は総延長約270km
- ・耐震化率は約37.5%にとどまる。
- ・特に配水管では耐震化が遅れており、災害時のリスクが課題である。

■経営の見直しへ



- ・将来にわたり安定した水の供給を続けるため、経営戦略の見直しを行う。
- ・収支のバランスを見据え、施設更新や維持管理の効率化、必要に応じた料金の見直しなどを検討していく。

■大型事業の実施



- ・令和8年度から西ノ別府浄水場の更新工事を実施する。
- ・総事業費は約11億9,000万円

令和8年度約7億2,700万円
令和9年度約3億8,000万円



■まとめ



水道は当たり前に見えるものであるが、その裏では多くの課題がある。将来にわたり安心して使える水を守るため、計画的な更新と持続可能な運営が求められている。

地域ぐるみの営農協働保全活動を支援

6,537万円(多面的機能支払事業)



- 国・県・町の補助金を活用し農地と水利施設の適切な保全管理をする地域に補助金を交付する。
- 現在の利用組織は、広域組織…1(23組織) 単独組織…9組織
- この交付金は活動エリアの農用地(田・畑)の面積に応じて算出し支払う。
農地維持の場合
田：3,000円/10a 畑：2,000円/10a

公共施設の管理を一括委託 「包括施設管理業務委託」

賛成多数で可決

老朽化が進む公共施設を効率的に維持するため、専門的な技術を持つ民間事業者に管理を一本化する「包括施設管理業務委託」を審議した。多額の予算を伴うため、議会では「4つの条件(附帯決議)」を添えた上での可決となった。

事業の概要

実施時期	令和8年10月1日～令和14年3月31日(5年6か月)
対象施設	町所有の61施設
主な内容	保守点検業務・修繕業務(200万円以下の小規模修繕)
総事業費	9億2,650万円(5年6か月)

費用の内訳と事業の流れ

分類	金額	内容
運営管理費	3億 377万円	事務・調査・専門的分析など
点検・修繕費	6億2,273万円	実際の保守点検・修繕に係る費用



議会が付けた4つの条件「附帯決議」

- ①管理コストの圧縮：管理費が割高にならないよう、徹底して無駄を省くこと。
- ②地元事業者の優先活用：町内の事業者が排除されないよう優先的に活用する仕組みを作ること。
- ③丁寧な事前説明：町民や事業者に対し、制度のメリット・デメリットを十分に説明すること。
- ④議会への透明性：事業の進捗やコストの変化を、定期的に議会へ報告すること。

附帯決議とは？

議案を可決する際、行政に対して付す「条件」のこと。行政はこれを尊重し、誠実に実行する責任がある。

なぜ議会は条件をつけたのか

今回の決議は、「やるからには町民と地元業者のために最高の形にすべきだ」という議会の総意である。特に「管理経費の割高さ」と「地元業者の仕事が減らないか」という点に議論が集中した。大手企業に一括して任せる便利さの一方で、川南町の経済を支える地元の力が弱まらないよう、議会として厳しく釘を刺した形である。

視点論点

可決は「ゴール」ではなく「スタート」。多額の税金を投じる以上、施設が安全に、そして地元の手によって守り続けていくか。議会は今後も、運用の実態を厳しく監視していきたい。

反対討論

中瀬議員・河野禎明議員・蓑原議員

中瀬 修

議案第13号令和8年度一般会計予算の総務管理費に計上された包括施設管理業務委託料は現時点では拙速であると考え、当該部分の修正を求める。本事業の方向性は否定しない。将来的な技術伝承や人材育成につながる「未来への投資」に賛成した経緯もある。

しかし、当初想定していた内容に乖離が見られ、現時点で十分に納得できない。特に、「技術伝承」や「人材育成」について具体的な手法や到達目標、事業終了後の体制移行に関する明確な道筋が、いまだ十分に示されていない。曖昧なままでは、本来“将来への投資”であるべき本事業が、結果として継続的な外部依存へとつながる懸念を払拭することができないため反対する。今は立ち止まり精査すべきであることを申し添える。

河野 禎明

川南は「かいたく」の町だが、このような10億円近くの委託料を認めたら、「かいたく」の町が「か」が抜けた「いたく」の町になる。今日が分かれ目の日だ。開拓で頑張れるか委託の町になるか。

新中学校の委託料は約2億円かかる。建築設計費が別に2億5000万円かかるかもしれない。鉄筋コンクリート構造では問題がある。町有林を活用すべきある。

蓑原 敏朗

2点で疑義。包括施設管理業務受託企業の出発はマンションや大きな建物の維持管理で、町予定の建物以外施設は如何、担当の帰属意識・把握能力が失われないか。

中学校統合整備コンストラクション業務は高校授業料無償化で私立志向増、私立の中学からの囲い込み等、注視が必要。コアな部分は教育委員会が自ら手掛けるべき。説明会で中学教育は1学年最低4学級必要と説明、新生児状況では不可能、禍根を残すより組合立等含め検討要。

賛成討論

金丸議員・小嶋議員・徳弘議員

金丸 和史

本予算は、新中学校建設や公共施設の適正管理など将来を見据えた重要施策として評価する。

委託は手段であり目的ではなく、町民サービスの向上につながるものでなければならない。これらの取組の成否は執行部の運用と説明責任、そして議会のチェック機能にかかっており、議会としても効果と成果を厳格に検証し、必要な改善を求めていく。

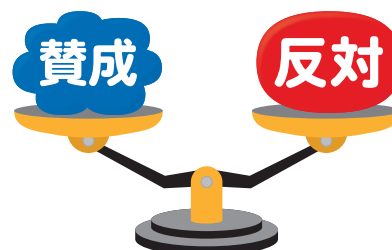
小嶋 貴子

包括施設管理業務委託料は、費用が高く5年半と長期契約であり、他自治体での前例が少なく、不安もある。しかし、財政課からの案件であり、町の財政を踏まえた判断である。

町内の施設の老朽化は進んでいる。安全確保や維持管理のために必要な取組である。特に学校などでは老朽箇所の早期発見と改善が重要であり、子供の安全、命を守ることにつながる。効果が見えるのに時間がかかるが、将来への投資として意義があると思われる。よって本議案に賛成する。

徳弘 美津子

包括施設管理業務は、事後対応から予防保全への転換により安全性向上と長期的コスト削減が期待される。本町は施設管理が分散しており点検や情報の一元化に課題がある。「職員でも出来るのでは」との声もあるが、職員の認識と努力のみに依存せず、組織として安全を確保する仕組みを構築する事は住民の安全を確保する事である。一方で費用や効果の見えにくさなど課題もあるため、効果の検証や人材育成、地元連携を求めつつ、責任ある前進として賛成する。



聞いてみました

包括施設管理業務について

質問(徳弘) 約3億円と言われるマネジメント経費の具体的内容と算出根拠は何か。

回答 マネジメント経費は単なる事務費ではなく、①施設巡回による不具合の早期発見②修繕内容の整理・見積依頼③再委託業者の履行管理④点検結果・修繕履歴の一元管理でこれにより、業務の重複解消や発注の効率化、施設の長寿命化を図るものであり、結果的に維持管理コストの抑制と管理水準の向上につながると考えている。

質問(徳弘) 包括管理により元請一括管理となる中、町内業者の受注機会はどのように確保するのか。また説明体制は十分か。

回答 ①過去3年の実績を持つ町内業者11社へ説明会を3回実施②町外33社には資料配布③今後、優先交渉権者決定後に説明会を開催④元請と各事業者が個別協議(民民契約)町内業者との契約が成立しなければ事業は進められないため、丁寧な説明と合意形成を重視する。

質問(徳弘) 契約期間(5年6か月)終了後の方向性はどのように考えているか。

回答 モニタリングによる事業評価を実施し、継続の可否を判断する。長期継続により予防保全への転換が期待されるが、評価が低ければ見直しや中止も含め検討する。

新中学校コンストラクションマネジメント(CM)業務

質問(河野禎明) CM業務とは具体的にどのような内容か。

回答 発注者(町)側に立ち、中立的に建設事業を支援。主な内容は①基本計画の策定支援②入札・契約支援③設計・工事段階の工程管理④コスト管理⑤令和8年度：構想・計画づくり⑥令和9年以降：設計・工事段階のマネジメント。

質問(河野禎明) 従来は設計業者が管理していたが、なぜ新たに必要なのか。

回答 ①建設費の高騰(資材・人件費)②働き方改革による環境変化③開校(令和13年4月)に向けた工程管理が重要④専門的な技術を持つ業者のコストの適正管理⑤透明性の確保⑥物価上昇時の説明責任にも対応。

質問(河野禎明) 設計費と合わせると約2億円規模になるが、費用対効果は妥当か。

回答 大規模事業ではCM導入が一般的。専門的管理により①無駄なコスト増を防ぐ②適正な価格説明が可能③事業全体の最適化に繋がる。

その他

質問(養原) 農業振興地域の整備計画の見直し委託ではどんな調査を行うのか。町で対応出来ないのか。

回答 農地面積、土地利用、就業人口、農業生産など・現況と将来見通しの調査をする。農業振興地域整備計画の見直しをする。理由は2か年事業で業務量が大きいため。

質問(養原) 国スポ実行委員会負担金(約1,292万円)はなぜ負担金なのか。準備費用との関係は。

回答 町から国スポ実行委員会負担金として資金拠出。内容は大会運営・準備費用。主な内訳：リハーサル大会経費約1,100万円。仮設設備(会場設営等)に費用がかかる。リハーサル大会は第30回西日本軟式野球選手権(令和8年10月予定)。本大会と同様の形式で実施。

令和8年 臨時会・定例会議事賛否表

議案	賛否表示……○は「賛成」 ●は「反対」 欠は「欠席」 議は「議長」の略	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議
		議員氏名	小嶋貴子	今井孝一	中瀬修	金丸和史	河野浩一	北原輝隆	江藤宗武	岸本茂樹	永友美智子	河野禎明	蓑原敏朗	徳弘美津子	中村昭人
第1回1月臨時議会 ※全会一致で可決された議案															
専決処分の報告について		専決処分の承認を求めるについて													
工事請負契約締結について		令和7年度川南町一般会計補正予算(第9号)													
令和7年度川南町水道事業会計補正予算(第2号)															
第1回3月議会定例会 ※全会一致で可決された議案															
専決処分の報告について															
川南町農地耕作条件改善事業分担金徴収条例を定めるについて															
川南町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を定めるについて															
川南町犯罪被害者等支援条例を定めるについて		川南町行政手続条例の一部改正について													
川南町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について															
川南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について															
川南町ふるさと農村活性化基金条例等の廃止について		令和7年度川南町一般会計補正予算(第10号)													
令和7年度川南町介護保険特別会計補正予算(第4号)															
令和8年度川南町国民健康保険事業特別会計予算		令和8年度川南町介護保険事業特別会計予算													
令和8年度西都児湯行政不服審査会特別会計予算		令和8年度後期高齢者医療特別会計予算													
令和8年度川南町尾鈴地区畜産用水管理事業特別会計予算		令和8年度介護認定審査会特別会計予算													
令和8年度川南町電子地域通貨事業特別会計予算		令和8年度川南町水道事業会計予算													
令和8年度川南町下水道事業会計予算		教育委員会委員の任命について													
第1回3月議会定例会 ※賛否が分かれた議案															
	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	議	
令和8年度川南町一般会計予算	可決	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	●	●	○	議	
反対討論：中瀬、河野禎、蓑原 賛成討論：金丸・小嶋・徳弘															
人権擁護委員の推薦について	承認	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	●	●	○	議	
発議															
令和8年度川南町一般会計予算に対する(附帯決議)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	●	●	○	議	

人事案件

～議会事務局人事異動のお知らせ～

教育委員



栗山栄子氏

子どもたちの笑顔に支えられながら、41年間保育の仕事に携わってきました。これからは教育委員として、保護者や地域の皆さまの声を大切にしながら、子どもたちの未来のために頑張ってまいります。



芥田麻衣子
(総務課より)

このたび、議会事務局に異動になりました芥田です。議会事務局の一員として、議会運営が円滑に進むよう正確かつ丁寧な仕事を心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



竹崎友美
(総務課へ)

4月の人事異動により議会事務局を離れることとなりました。議会事務局での経験を通して、多くの学びと貴重な経験を得ることができました。今後も町政発展のため努めてまいります。ありがとうございました。

一般質問

読みやすい紙面づくりをめざしています。記事については質問者本人から提出された原文を基に作成しております。QRコードからホームページの各議員のページへ行けます。



葦原 敏朗



農業政策

問1 農業現況は、優良ノウハウを広げ産地化を進めるべき。

答1【町長】 厳しいが、好成績経営体もある。県が進めるデータ

駆動型農業等の支援する。

答1【産業推進課長】 自主研修で優秀な技術は伝える。

農地計画の活用

問2 農地計画活用は。農業委員活動に行政も積極的支援が必要。

答2【農地課長】 44地区で計画を作成、農地集約集積を進める。行政は可能な限り一緒にやる。

タウンミーティング・防災行政無線

問3 初タウンミーティング感想は。ご婦人方と

の会でPFAS(有機フッ素化合物)が報道され不安。町長自らの声で大切な事等は防災行政無線活用という声があった。

答3【町長】 貴重な機会で年数回開催する。消防始め式の際、消防団の活躍と観覧を直接呼びかけた。

リーダー養成

問4 ちいき・まちづくりは担う人づくりが不可欠、青年層・壮年層のリーダー養成は。

答4【町長】 若者連絡協議会が当てはまる。

人口問題、送料無料・入学祝い金廃止

問5 新たな取組を検討する段階とは。地場産品送料無料事業・入学祝い金廃止等の子育て関連助成制度廃止は人口増に手厚い自治体から取り残されないか。

答5【町長】 各自治体様々な取組をして、一時的にはプラスになったが相対して結果が残ったとは言えない。基幹産業の所得向上が定住移住に繋がる。



金丸 和史



ひとり親家庭支援について

問1 ひとり親家庭の医療費助成制度の運用と負担軽減について、本町の考えはどうか。

答1【福祉課長】 県制度に基づき償還払い方式を採用している。利用は年間3,000件前後で、多くの家庭に活用されている。

答1【福祉課長】 医療費の立替えや申請の手間が負担となり、受診を控える可能性があることは認識している。

答1【町長】 負担軽減は重要な課題であり、手続の簡素化や支援の充実を検討していく。

消防団について

問2 消防団の現状と団員確保に向けた取組について、本町の考えはどうか。

答2【町長】 消防団は地域の安全を守る大切な存在である。

答2【総務課長】 団員数は維持しているが、人口減少などにより確保は課題である。報酬の見直しを進めている。

答2【総務課長】 女性団員や機能別団員など、参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。

答2【町長】 地域防災力を守るため、必要に応じて体制の見直しも検討する。





永友美智子



川南駅からの移動手段について

問1 電車で川南に来た人が、交通手段なく困っている。状況把握並びに対策をどのように考えているか。

答1 【まちづくり課長】 現在川南町のタクシー会社はあい交通さんのみ。対策に関しては、あい交通さんが営業していない夜間・日曜日の時間帯、高鍋から来るよう手配する。その際迎車回送料金相当分の運行経費補助する。

公共ライドシェアについて

問2 タクシー事業者が1社・数台のみという現状から、公共ライドシェア導入の考えはあるか。

答2 【まちづくり課長】 公共ライドシェアに関しての運用方法、それに対する補助事業はあるのか、登録を受ける為に要する期間、宮崎県タク

シー協会の協力をどのような形で得られるかを現在検討中。

町外移動について

問3 町外へ移動する際の負担軽減のため、オンデマンドバスと広域コミュニティバスの乗り継ぎ改善はできないか。高齢化が進む中、誰もが安心して移動できる交通環境づくりが必要だと思う。

答3 【まちづくり課長】 町民の皆様の利便性向上に向け、オンデマンドバスから高鍋町から都農町を結ぶ広域的コミュニティバスへの乗り継ぎについて、バス停の位置変更等、スムーズな乗り継ぎが実現できるよう、関係機関と連携し調整を進めていく。



北原輝隆



南海トラフ巨大地震への対策・対応について問う

問1 庁舎機能と停電対策は。

答1 【町長・各担当課長】 ①本庁舎の非常用発電機は軽油950Lで約22時間稼働。

- ②地元石油商組合と燃料優先供給協定を締結。
- ③庁舎内優先回路はエリア別に設定。
- ④発電機は自動起動で年1回の実負荷試験を実施。
- ⑤発電機は1台のみでバックアップ電源は未整備。
- ⑥福祉センターは非常電源でポンプ稼働するが本庁は未接続。
- ⑦簡易トイレ・飲料水・非常食を備蓄し、職員の執務環境整備。
- ⑧防災行政無線は72時間、衛星電話は22時間稼働可能を想定。
- ⑨今後は、蓄電池・再生エネ・ICT分散化で強靱化を検討。

問2 教育委員会の対応は。

- 答2** 【教育長】
- ①非常配備で町長指揮下に参集し、情報収集・支援を実施。
 - ②夜間休日はメールやSNSで連絡、災害対策本部と情報共有。
 - ③校長判断で柔軟に避難実施。
 - ④通学時の被災時の行動は、マニュアルで確認併せて、保護者に周知。
 - ⑤通信途絶時は学校で児童生徒を保護。
 - ⑥校舎耐震化率は100%。非構造部材の調査・対策を今後検討。
 - ⑦避難所としての運営・備蓄は町が主導。
 - ⑧備蓄品は学校独自備蓄を検討。





今井 孝一



令和8年度 町政運営方針について

新中学校整備を核とした都市計画について

問1 対象区域や計画骨子を問う。

答1 【町長】川南町都市計画マスタープランと立地適正化計画を基に、道路や住まいの環境整備を進める方針である。

答1 【建設課長】学生の通学路の安全確保のため道路拡張等を検討中。

効率的な行政システムづくりについて問う

問2 どのような行政システムを想定しているのか。

答2 【総務課長】施設集約や業務見直し、DX推進による効率化を図り、高齢者への支援としてスマホ講習会等の実施を検討する。

長期総合後期計画と組織改革について

問3 計画づくりにあたっての考え方を問う。

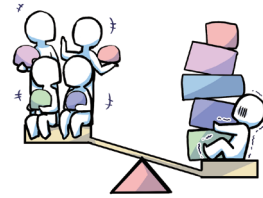
答3 【町長】産業振興、デジタル活用、定住促進を柱に組織改革を進める方針である。

答3 【総務課長】組織の効率化と意思決定の迅速化を図り、重点分野への資源集中や人材育成を行い、変化する社会環境に対応できる体制を目指す。

特定地域づくり事業協同組合について

問4 制度的、財政的支援をどのように考えるのか。

答4 【まちづくり課長】国の交付金を活用した財政支援や人材募集支援等により、地域事業者の人手不足解消や定住促進につながり得ると考える。



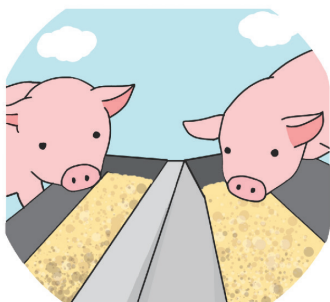
江藤 宗武



畜産振興担い手確保

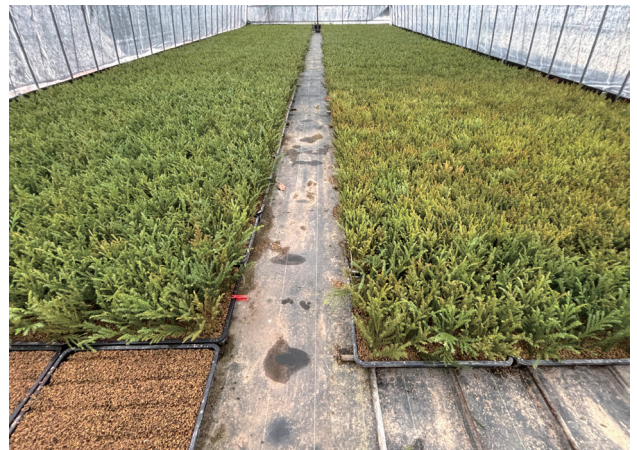
問1 現在、畜産業は不安定な状況にある。町政運営方針に「畜産振興」が掲げられているが、具体策は。

答1 【町長】畜産業は農業産出額約250億円の7割を占め、本町経済を支える重要産業である。家畜伝染病対策や防疫体制の強化、臭気対策、飼料価格高騰や気候変動への対応などに取り組み、持続的な発展につなげる。



問2 担い手確保と持続可能な産業育成について、具体策と数値目標は。

答2 【町長】農業ではトレーニングハウスを活用し、新規就農者の確保や親元就農者支援、第三者継承支援を行う。目標は新規就農研修生を年間5人、第三者承継5年間で5件とする。畜産分野では新規参入が難しいため、国や町単独事業を活用し担い手確保を図る。林業では森林環境譲与税を活用した支援を実施。商工業では商工会や金融機関と連携し、創業支援や経営相談を強化する。



森林環境譲与税を活用したコンテナ苗生産



中村 昭人



地域活性化基金の意義を問う

問1 ぷらっつは、単なる休憩・物販施設ではなく、地域活性化や防災の拠点として町全体の活性化を担う施設である。指定管理者からの納付金も積み立てられているが、その活用は施設整備・維持管理に限定されている。地域活性化拠点施設である以上、その利益を地域活性化に生かす制度とすべきではないか。

答1 【町長】 ぷらっつは町全体の活性化のための財産・資源であり、地域活性化基金条例につい

ては現状の内容では難しさを感じている。基金の効果的な活用に向け、条例の見直しが必要と考えており、今後、制度設計を含め検討を進める。

地域活性化の担い手

問2 商工会TMO、観光協会、川南まちづくり株式会社など、地域活性化を担う団体は成果を上げる一方で、人材や財政面の課題もある。今後、戦略的な連携や基盤強化に向け、町としてどのように関わるのか。

答1 【町長】 各団体はそれぞれ重要な役割を担っている。町として経営方針に直接関与する立場ではないが、連携や制度設計について助言を行い、公益性が認められる取組には必要に応じて支援していく。



中瀬 修



施政方針について

問1 本事業の新しさと目指す成果は何か。

答1 【町長】 従来のジュニアリーダー育成に加え、シニアリーダーや集団指導者養成を新たに位置付け、段階的に指導者へ成長する仕組みを構築する点が新しい。地域に関わり続ける次世代人材の育成を目指す。

問2 推進体制はどのようになるのか。

答2 【町長】 教育委員会が中心となり、町は活動の場を提供するなど連携し、町全体で人材育成に取り組む。

問3 人口減少対策の方向性とは。

答3 【町長】 雇用創出、移住・定住促進、子育て支援を柱に、持続可能な地域づくりを進める。

問4 移住促進の新たな取組とは。

答4 【町長】 特定地域づくり事業協同組合の設立を検討し、安定雇用と人材確保を図る。

問5 若い世代の定住促進策とは。

答5 【町長】 雇用・住まい・子育てを一体的に支援する。空き家バンクの活用や住宅取得支援、子育て環境の充実により、安心して暮らせる環境づくりを進める。

問6 今後の人材育成の考え方とは。

答6 【町長】 人づくりはまちづくりの基盤であり、各分野で主体的に行動し、地域に貢献できる人材の育成に継続して取り組む。

■川南の人口と推移

毎月1日現在の現住人口

	人 口	転 入	転 出	自然増減		世帯数
				出 生	死 亡	
令和8年2月	13,966人	48人	30人	5人	23人	6,040世帯
令和8年3月	13,945人	36人	45人	1人	13人	6,051世帯
令和8年4月	13,850人	53人	128人	5人	25人	6,053世帯

川南町の未来をつくる 「長期総合計画」と 予算の関係

令和8年度から後期計画がスタート


川南町が10年後にどんな町になるのか----
その未来図を描いた設計図が長期総合計画です。
この計画に基づいて、毎年の予算が生まれ、
さまざまな事業が行われています。議会はその
方向性に沿っているかを確認しながら、予算を審議しています。

10年後の
川南町を考える
まちづくりの
設計図です。



長期総合計画の6つの基本目標

**1 未来を拓く
ひとを育むまちづくり**




教育、生涯学習、
文化、スポーツ、
ひとづくり

**2 手を取り、寄り添い
合うまちづくり**




人口対策、自治・協働
環境保全、情報施策
地球温暖化対策

**3 地域と人が輝く
まちづくり**




農畜産業、水産、林業、
商工観光業、雇用労働対策
農地の活用、企業誘致

**4 健やかに、自分らしく
輝けるまちづくり**



健康づくり、子育て支援、
高齢者福祉、障がい者(児)福祉、
地域医療・福祉施設の連携

**5 豊かな自然と
共生するまちづくり**



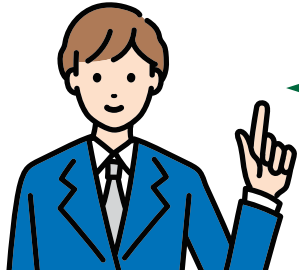
都市計画、都市開発計画、
道路、公共交通の拡充、
上下水道保全、整備

**6 自立し、未来へつなぐ
まちづくり**



防災・減災対策
地域安全対策
公有財産の適性管理

長期総合計画は
まちの未来の
設計図



予算書だけでは見えない？
令和8年度予算には、道路整備や福祉、教育など多くの事業が計上されています。
その背景には、「どんな町を目指すのか」を定めた長期総合計画があります。

計画は、実際の予算へ

令和8年度
主な事業の例

※金額は事業費
(千円単位切りすて)

長期総合計画の6つの基本計画に基づき、令和8年度の
主な事業を一部ご紹介します。



1 未来を拓く ひとを育む まちづくり

- ・文化ホール舞台吊物改修工事……………1,228万円
- ・国スポ・障スポ実行委員会負担金…1,292万円
- ・新中学校校舎建設CM業務……………7,975万円



2 手を取り、 寄り添い合う まちづくり

- ・重層的支援体制整備事業……………1,287万円
- ・自治公民館活動費交付……………3,533万円
- ・省エネ家電購入補助……………2,010万円



3 地域と人が輝く まちづくり

- ・スマート農業導入推進事業……………800万円
- ・畜舎暑熱対策事業補助金……………190万円
- ・肥育牛生産者緊急支援補助金……………623万円



4 健やかに、自分 らしく輝ける まちづくり

- ・敬老事業交付金……………350万円
- ・健康ポイント事業……………1,469万円
- ・障害福祉充実(障害福祉サービス)…6億2,625万円



5 豊かな自然と 共生する まちづくり

- ・タクシー利用料金助成補助……………720万円
- ・西ノ別府浄水場更新工事……………7億2,732万円
- ・配水管布設替工事……………5,164万円



6 自立し、 未来へつなぐ まちづくり

- ・包括施設管理委託(5年6か月)……9億2,650万円
- ・公有財産売却事務包括民間委託……………330万円
- ・町有地地下埋設物調査委託……………250万円

☆☆議会をもっと身近に☆☆

議会活性化調査特別委員会 令和8年度の取組予定

川南町議会では、町民の皆さまにとって「わかりやすく・参加しやすい議会」を目指し、さまざまな取組を進めています。

【学ぶ議会】研修会の開催

- ・6月・11月に専門講師による研修会を実施
- ・議員の資質向上を図ります。



👉 常に学び続ける議会

【ふれあう議会】主権者教育

- ・中学生の自習室として議場開放(夏休み・冬休み)



👉 子どもに政治を身近に

【開かれた議会】報告会

- ・9月定例会で審査した令和7年度の決算の報告を11月開催



👉 直接説明する議会へ

【伝える議会】情報発信の強化

- ・6月定例会から議会動画(録画)配信スタート
- ・議会ホームページのさらなる充実を図る



👉 いつでも見られる議会へ

【つながる議会】意見交換

- ・各種団体との意見交換
- ・「はたちを祝う会」でのアンケート



👉 地域の声を政策へ

【見える議会】活動の見える化

- ・議員の活動量を調査
- ・議会活動の充実

👉 何をしているかがわかる議会へ



【政策提案】町長へ提言書

- ・住民の声を踏まえ町長へ提言書を提出していきます。



👉 議会から町を動かす



【編集後記】

新年度を迎え、心新たに決意を固めておられる方も多いことと思います。国内においては、地震や山火事など、災害が頻発しています。災害に備えることがとても大事だと感じています。世界的にも、緊張、不安定な状況が続いています。原油供給への懸念は、物価高など私たちの暮らしにも影響を及ぼしています。こうした中、3月議会では新年度に向けた重要な施策や議案が多数審議され、可決されました。紙面の都合上、広報に掲載できないものもあります。川南町議会としては地域の課題にしっかり向き合い、足元を固めた取組を進めてまいります。今後とも町政と議会への関心を高めていただける議会だよりとなるよう努力を続けていきます。

議会広報編集委員 ●委員長 徳弘美津子 ●副委員長 中瀬 修
●委員 小嶋貴子、今井孝一、永友美智子、岸本茂樹

一般質問



定例会



【編集・発行】宮崎県川南町議会 〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1
【発行者】川南町議会議長 【編集者】議会広報編集特別委員会

TEL 0983-27-8017
【印刷】ヤマキ印刷